

キシヨウブ

Iris pseudacorus

種名



分類	被子植物単子葉植物綱アヤメ科	俗称		生活型	多年草、湿地植物
分布	ヨーロッパから西アジア原産。日本へは明治30年頃、観賞用に輸入したが、今では各地で野生状態でみられる。				
形態	茎は長い剣状で長さ50～100cm、幅2～3cm、中肋は著しく隆起して目立つ。花茎は高さ60～100cm、2～3個の枝を分ける。				
類似種					
生息場所	池沼、湿地、川岸、溝などにはえる。				
繁殖	花期は5～6月。鮮黄色の花をひらく。外花被片は広卵形で大きく、先は垂れ下がり、内花被片は長楕円形で小さく、直立する。蒴果は三角状長楕円形で長さ約6～7cm。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 単子葉植物』を改変					